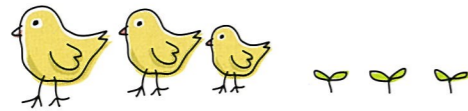


お知らせ



ご意見・ご感想をお寄せください。
●山形県しあわせ子育て応援部多様性・女性若者活躍課
☎ 023-630-2694 FAX 023-632-8238

毎月第3日曜日は「家庭の日」

子育てにおいて家庭が果たす役割は大変重要です。そこで、家族のきずなを大切にす日として、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、併せて月別の取組みテーマを提案しています。

【月別テーマ】

- 12月「家族みんなで協力して、仕事を分担して助け合う」
- 1月「新しい年を迎え、1年の計画をたてる」
- 2月「寒さに負けない心と体をつくる」
- 3月「学期の節目を迎え、1年間の子どもの成長を祝う」

山形県青少年育成県民会議の活動にご理解とご協力をお願いします。

エフエム山形「キッズガードキャンペーン」の協賛

県民会議では、春に行われているエフエム山形の「Rhythm Stationキッズガードキャンペーン」に協賛し、番組内のキャンペーン啓発スポット放送や、県内の小学校新入学児童全員への「あんぜん・あんしんガイドブック」配布に支援しています。



第62回(令和5年度)山形県少年の主張大会

中学生の皆さんが、自らの体験を通して日頃抱えている思いや意見を発表する大会が、9月24日(日)に山形国際交流プラザ(山形ビッグウイング)で開催されました。

地区予選、ブロック予選を勝ち抜いた県内4地区の代表15名が出席。大勢の観衆の前で、堂々とした主張発表を行いました。審査の結果、「大切な家族」と題して発表した富樫蒼汰さん(酒田市立第一中学校3年)が最優秀に選ばれました。(2ページ目にインタビュー記事掲載)



令和5年度山形県青少年育成県民会議総会

6月1日(木)に、県庁講堂にて総会を開催しました。約400名が参加し、令和5年度の活動方針、事業計画などについて協議し、議案はすべて原案通り承認。そして、新会長に津田 浩氏が選任されました。



令和5年度「明るいやまがた、夏の安全県民運動」出発式

7月21日(金)～8月20日(日)の期間で県民運動が展開され、初日の21日に県庁講堂で出発式を行いました。吉村知事のあいさつと運動実践者の皆さんによる「安全宣言」の後、県警音楽隊による演奏のなか、県庁前で車列の見送りを行いました。

この出発式を皮切りに、県内各地域において、交通、防犯、青少年育成など各方面の皆様のご協力のもと、様々な取組みが実施されました。



モンテディオ山形ホーム戦啓発活動

11月12日(日)NDソフトスタジアム山形で開催された、モンテディオ山形ホーム最終戦で、広報・啓発活動を実施しました。今年も、「児童虐待防止オレンジリボンキャンペーン」と連携して実施しました。

ブースでのノベルティ配布や、ハーフタイムにピッチを周回し、「いじめ・非行をなくそうやまがた県民運動」と「家庭の日」の広報のぼり旗で活動のPRを行いました。



見守る目 育む芽 49

いじめ・非行をなくそう、やまがた県民運動

山形県では、平成25年度から「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動を展開しています。

<運動の基本方針>

- ◎学校、家庭、地域が連携し、みんなでいじめ・非行を許さない社会づくりを進めていこう。
- ◎いじめを受けて悩んでいる子どもたちが相談しやすい環境をつくっていこう。



- P1 いじめ・非行防止セミナー
- P2 いじめ・非行防止セミナー発表者インタビュー&県民大会レポート
- P3 令和5年度「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動の取組みインターネットの安全利用について若者支援コンシェルジュについて
- P4 県民会議の取組み

いじめ・非行防止セミナー

10月29日に新庄市民プラザで「いじめ・非行防止セミナー」を開催しました。セミナーでは、第62回(令和5年度)山形県少年の主張大会で最優秀を受賞した富樫蒼汰さんによる主張発表、最上町青少年育成町民会議菅孝会長による事例発表のほか、東京家政大学人文学部の杉山雅宏教授をお招きし、ご講演をいただきました。



講演 「青少年の心の声を聴かせていただく ～今どきの若者とのつながりを模索して～」

東京家政大学 人文学部 教授 杉山 雅宏 氏

カウンセラーとしての活動も行う杉山氏は、現代の子ども達が直面している人間関係について、実際の声を交えながら説明し、「大人はすぐアドバイスしたくなるが、まずは自分の価値観を脇に置き、こどもの気持ちを理解しようという姿勢で青少年の心の声を“聴かせていただく”ことが大切」と講演。さらに青少年たちとの信頼関係を築くための心得を、一つずつ丁寧に解説していただきました。

ユーモアを交え参加者とコミュニケーションをとりながらの講演は情熱にあふれ、家庭から、地域から取り組む健全育成の指針を共有する有意義な時間となりました。

事例発表 「最上町の青少年健全育成活動について」

最上町青少年育成町民会議 会長 菅 孝 氏

事例発表では「笑顔さく みんながつながる最上町」をテーマとする最上町青少年育成町民会議の活動について紹介がありました。同団体ではあいさつ運動や夜間パトロールなどの他にも、独自事業として家族や地域の方に感謝の気持ちを伝えるための「絵手紙・標語コンクール」を小・中・高校生を対象に実施しています。コロナ禍による中断を経て数年ぶりに開催されたコンクールでは、子ども達の笑顔に確かな手応えを感じたと振り返る菅さん。今後もそれぞれの活動を継続し地域の健全育成に貢献していきたいとの決意で発表を締めくくりました。



山形県青少年育成県民会議入会のおお願い

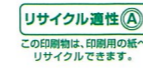
当会議では、次世代を担う青少年の健全な育成を図るため、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動や「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動を展開しています。活動や趣旨にご賛同、ご協力いただける新規会員の方を募集しております。周りの方にも、ぜひお声がけをお願いいたします。

☆現在の会員数(1,264人) 令和5年10月末現在
会員の皆様には会報をお送りするとともに特別会員は会報及び総会資料に、賛助会員は総会資料にお名前を掲載させていただきます。

☆会員の種類と会費	
・特別会員(103万円)	・賛助会員(105千円)
・団体会員(101千円)	・個人会員(101千円)

問合せ・申込み先
山形県青少年育成県民会議事務局
(県多様性・女性若者活躍課内)
TEL: 023-630-2727
FAX: 023-632-8238

【特別会員】 敬称省略・順不同
・全国農業協同組合連合会山形県本部
・全国共済農業協同組合連合会山形県本部
・一般社団法人山形県建設業協会
・山形放送株式会社
・高橋畜産肉株式会社
・出羽三山神社
・株式会社グローバルマシーン



いじめ・非行防止セミナー発表者インタビュー



少年の主張発表

酒田市立第一中学校 3年
とがし そうた
富樫 蒼汰さん

Q どんな気持ちでこの主張に臨みましたか。

スペクトラム自閉症の弟は、遠足などは、母と下見をしないと当日外出することができません。そして下見をしても当日体調が悪くなったり、家から出られないことがあります。僕はそれらを弟のわがままで思っていたのですが、障がいのある弟だと分かってからは、弟はどれだけ苦しんでいるのだろう、と考えるようになりました。

ある時、兄弟揃って映画を観に行きました。しかし弟は人が多い場所や大きな音が苦手で、1回目は観れませんでした。そこで僕と兄は耳栓を用意し、出口に近い席に座って弟と手をつなぐことで、3人一緒に最後まで映画を鑑賞することができました。「最後まで見られた!」と喜ぶ弟の姿に、僕たちも心から嬉しくなりました。

僕は弟がいてくれたおかげで、困った人に手を差し伸べたいという気持ちが強くなりました。周りの人にもさまざまな障がいについて理解してほしい、という思いでこの主張に臨みました。

北海道・東北ブロック代表として11月、第45回少年の主張全国大会に出場し、文部科学大臣賞を受賞しました!!



事例発表者

最上町青少年育成町民会議
会長
かん たかし
菅 孝氏

Q 活動を通して、感じていることを教えてください。

最上町青少年育成町民会議は、主に町内の子どもたちの健全育成と見守りを中心に活動しています。具体的には、毎月1回・朝夕のあいさつ運動や祭り・連休・夏休みなどでのパトロールを行っています。

近年は新型コロナウイルス感染症の流行により、久しく活動を制限されました。交流を活動のかねめとしている町民会議活動を弱め、人と人のつながり(絆)を断ち切る厄介なパンデミックでありました。

『こんな状況を何とかしなくては』『子どもたちを何とか励ましてやりたい』と考え絵手紙コンクールを実施し、それを小冊子として記念に残る活動をはじめました。引きこもりがちでマスクの外せない日々但至少でも彩りをとっていましたが、その絵手紙の作品を見ると、色使いや子どもらしい絵の表現に感動を覚えます。

現在はコロナ禍も収束しつつありますが、今後も記念に残る新たな活動として、継続していきたいと思っています。

令和5年度山形県青少年健全育成県民大会

10月29日(日)、令和5年度山形県青少年健全育成県民大会が新庄市民プラザで開催され、約200名の方に参加いただきました。大会宣言や表彰式を行い、青少年育成活動に貢献してきた方々をはじめ、いじめ防止優秀標語作者、ポスターデザイン作者の表彰も行いました。

模範活動青少年団体

寒河江市高校生ボランティアサークル「チェリーズ」

青少年育成功労者

なかがわ 中川 ふきさん(寒河江市) きよの 京野 秀明さん(新庄市) たかはし 高橋 としおさん(米沢市)

青少年健全育成県民運動協力者

うめつ 梅津 晶一さん(白鷹町) たが 田賀 幸二さん(酒田市)

優秀標語作者

太田 琴海さん(河北町) 門脇 里奈さん(大蔵村)
安部 晏理さん(白鷹町) 梅木 愛咲さん(庄内町)

ポスターデザイン最優秀作品作者

清野 大志さん(山形県立山形中央高等学校)



津田浩県民会議会長の挨拶



表彰式の様子

令和5年度“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の取組み

令和5年度 いじめ防止優秀標語

村山地区

その文章 スマホの向こうで 泣いてるよ
河北町立河北中学校 3年 太田 琴海さん

最上地区

守りたい 私の言葉で あなたの笑顔
大蔵村立大蔵中学校 3年 門脇 里奈さん

置賜地区

「どうしたの」「だいじょうぶ」
やさしい声が 心をひらく
白鷹町立荒砥小学校 4年 安部 晏理さん

庄内地区

助けたい 自分の勇気で 変わる未来
庄内町立余目中学校 2年 梅木 愛咲さん

「いじめ防止」標語を募集したところ、県内の小・中・特別支援学校から計53,068件の応募があり、今年度は上記4作品が見事優秀標語に輝きました。作者は10月29日に新庄市民プラザで開催された青少年健全育成県民大会において表彰を受けました。

令和5年度 いじめ防止ポスター

“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の周知・啓発を図り、また「いじめ防止」優秀標語を広く県民の皆様にご覧いただくために、県内の高校生を対象にポスターのデザインを募集し、作成しました。



山形県立山形中央高等学校 2年 清野 大志さん

「いじめ」という難しいテーマをあえて底抜けに明るく描きました。1人称視点で手を差し伸べられているように構図を工夫しました。

スマホの見せ方、使わせ方アドバイス

2歳児の62.6%が
ネットで動画等を見ている!
(令和3年度内閣府の調査結果)



安全な使わせ方できていますか?

- Q 子どもが動画をずっと見ていて、なかなかやめてくれませんか。
- A 子どもはまだ自分でコントロールできません。子どもが成長とともに自律していけるようサポートしましょう。時間管理ツールを利用したり、使う場所を決めるようにしましょう。
- Q 親のスマホを使わせていますが…。
- A 子どもが使うスマホにはフィルタリングを。オン・オフ切り替えが簡単なものがありますので、保護者の機器に導入して子どもが使うときはオンにしましょう。

※詳しくは、内閣府のリーフレットをご覧ください。相談窓口なども紹介しています。



若者向けの元気応援窓口

若者向けの元気応援窓口
若者支援コンシェルジュ

若者(40歳位まで)の地域での活動を応援、サポートしています。

- ◆なんでも相談窓口
地域活動する上での知りたいこと、困りごとなど、相談を受け付けています。
- ◆若者サポーター
相談内容に応じて、地域活動の実践者が、若者のチャレンジをサポートします。
- ◆出張交流会
「仲間づくり」や「知識を深める」ことを目的に、各回テーマを設定し若者同士の交流を行っています。
- ◆おこしあいネット
若者の皆さんから寄せられた情報や、地域活動する上で役立つ情報を掲載しています。

*若者支援コンシェルジュ事務局
受付:平日 9:00~19:00
電話:080-4732-3804
SNSメッセージからもお問合せいただけます!

